＂スブハーナッラーヒ・ワ・ビハムディヒ＂と一日に１００回言う者は、その罪を落とされる。たとえそれが、海の泡ほどだったとしても、である。

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言った：「＂スブハーナッラーヒ・ワ・ビハムディヒ＂
と一日に１００回言う者は、その罪を落とされる。たとえそれが、海の泡ほどだったとしても、である。」 [真正] [二大真正集収録の伝承]

このハディースの中には、この形式によるタスビーフ（アッラーをあらゆる欠点から無縁として称える称賛の言葉）を含むこのズィクル（念唱）の徳が含まれている。また、一日に１００回「スブハーナッラーヒ・ワ・ビハムディヒ（いかなる欠損からも無縁なアッラーに称えあれ、かれの完全なる性質ゆえの賞賛と共に）」と唱える者の罪を、たとえそれが海の泡の数ほど多かったとしても、アッラーが帳消しにして下さることを述べている。これはアッラーをズィクルする者たちへの、アッラーからの恩寵である。 このズィクルはハディースに「一日に」とあるように、朝のズィクルであると同様、夕のズィクルでもある。アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）による別のハディー スによれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言っている：「＂スブハーナッラーヒ・ワ・ビハムディヒ＂と朝を迎える時と夕を迎える時に１００回言う者よりも、審判の日によいものを携えて来る者はいない。ただしその者と同様に唱えた者、あるいはそれ以上唱えた者は、その限りではない。」（ムスリムの伝承）

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/5516